

「ふね遺産」（応募様式）：A4一枚に収め、それ以上は別途資料添付して下さい。

2017年12月10日提出 氏名（個人名または団体の代表者名）：加納 修

所属（個人は住所）：石川県金沢市粟崎町2-416

メールアドレス：osamukanou343@icloud.com

その他の連絡先：

No.(*)	内容	備考
1. 対象物・資料の名称・所属または所有者	名称：江戸期の船絵馬 所属：粟崎八幡神社	
2. 対象物の作成・存在時期	19世紀初頭から幕末にかけて制作され、地元粟崎の廻船問屋木谷家などから奉納された船絵馬11件	
3. 現状 (写真添付)	 <p>大坂の船絵馬師吉本善京が文化8(1811)年に制作した万徳丸の精緻な船絵馬</p>	左図に一例を示す。 11件の船絵馬を添付資料に示す。
4. ふね遺産認定基準の該当項目(**)	【認定対象】(3)、(4) 【認定基準】(7)、(11)、(13)	
5. 歴史的・工学技術的意義	(1) 石井謙治氏のいわゆる船絵馬の黄金時代である第3期（文化期～天保期）の秀作が揃っており、和船及び船絵馬の研究上極めて重要な資料である。 (2) とりわけ文化14年(1817)と天保2年(1831)の大絵馬は、船絵馬ひいては日本の船舶画の傑作と言って過言ではない。 (3) 空船を描く4面の絵馬は他に類例がない。 (4) 落款物の絵馬は、文化8年(1811)の万徳丸の絵馬をもって嚆矢とする。	
6. 参考資料・文献 (本表に収まらない場合は別途添付する)	石井謙治・安達裕之：『船絵馬入門』 船の科学館叢書4、船の科学館 (2004)	

(*) No.は学会で記載します。

(**) ふね遺産認定基準の【認定対象】と【認定基準】の項目の内、該当する項目を、文頭の番号で記載して下さい（複数項目可）。